

別紙5-2 定款附属書漁業生産組合役員選挙規程例新旧対照表

(傍線部分は改正部分)

改 正 後	現 行
<p>(被選挙権を有しない者)</p> <p>第一条 次の各号に掲げる者は、被選挙権を有しない。</p> <p>一 (略)</p> <p>(削る。)</p> <p>二 精神の機能の障害のため職務を適正に執行するに当たって必要な認知、判断及び意思疎通を適切に行うことができない者</p> <p>三 五 (略)</p> <p>(備考) 第五号に規定する者を被選挙権を有しない者とし、ない組合にあつては、同号を規定しないこととすることができる。</p> <p>(選挙の通知及び公告)</p> <p>第三条 選挙期日は、その期日から十四日前までに、選挙管理者の氏名並びに投票開始の時刻及び選挙される理事及び監事の数を書面をもって組合員に通知し、かつ、公告しなければならない。</p> <p>(備考) (略)</p> <p>(選挙管理者等)</p> <p>第四条 (略)</p> <p>(備考)</p> <p>① (略)</p> <p>② 組合員が七人未満の組合にあつては、「四人」を「一人以上</p>	<p>(被選挙権を有しない者)</p> <p>第一条 次の各号に掲げる者は、被選挙権を有しない。</p> <p>一 (略)</p> <p>二 法人</p> <p>三 成年被後見人若しくは被保佐人又は外国の法令上これらと同様に 取り扱われている者</p> <p>四 六 (略)</p> <p>(備考) 第六号に規定する者を被選挙権を有しない者とし、ない組合にあつては、同号を規定しないこととすることができる。</p> <p>(選挙の通知及び公告)</p> <p>第三条 選挙期日は、その期日から十四日前までに、選挙管理者の氏名並びに投票開始の時刻及び選挙される理事及び監事の数を書面をもって正組合員に通知し、かつ、公告しなければならない。</p> <p>(備考) (略)</p> <p>(選挙管理者等)</p> <p>第四条 (略)</p> <p>(備考)</p> <p>① (略)</p> <p>② 正組合員が七人未満の組合にあつては、「四人」を「一人以</p>

<p>「」に改めること。</p> <p>(書面又は代理人による選挙権の行使)</p> <p>第十一条 (略)</p> <p>2 (略)</p> <p>(備考) <u>組合員</u>が七人未満の組合にあつては、第二項の代理人が代理しうる組合員の数を、<u>組合員</u>の半数以下とすること。</p> <p>(補欠選挙)</p>	<p>上」に改めること。</p> <p>(書面又は代理人による選挙権の行使)</p> <p>第十一条 (略)</p> <p>2 (略)</p> <p>(備考) <u>正組合員</u>が七人未満の組合にあつては、第二項の代理人が代理しうる組合員の数を、<u>正組合員</u>の半数以下とすること。</p> <p>(補欠選挙)</p>
<p>第二十四条 役員の全部又は一部が欠けた場合は、前条の規定により当選人を定めることができることを除き、その不足の員数につき、補欠選挙を行わなければならない。ただし、欠員数が理事の定数の三分の一未満であるとき若しくは監事の定数の三分の二未満であるとき又は役員に欠員を生じた時が役員の任期満了前三月以内であるときは、次の総会まで補欠選挙を行わないことができる。</p> <p>(削る。)</p> <p>(備考) 監事を置かない組合にあつては、本条中「若しくは監事の定数の三分の二未満であるとき」を削除すること。</p> <p>(削る。)</p>	<p>第二十四条 役員中欠員を生じた場合において、その欠員数が理事又は監事の定数の三分の一以上になったとき又は理事会が必要と認めるときは、補欠選挙を行わなければならない。ただし、前条の規定により当選人を定めることができる場合を除く。</p> <p>2 前項の補欠選挙は、役員の任期の満了する日の九十日前の日以後はこれを行わない。</p> <p>(備考)</p> <p>① 監事を置かない組合にあつては、第一項中「又は監事」を削除すること。</p> <p>② 理事会を置かない組合にあつては、第一項中「理事会が必要と認めるとき」を削除すること。</p>